

# 子どもたちが作った 正しい地域安全マップ



## すぐに使える参考コメント集



「このイベントは競艇の交付金による  
日本財団の助成金を受けて実施しました」

ほっかいどう地域スキスキ安全  
マップコンテスト  
事業報告書

平成20年3月  
NPO法人エクスプローラー北海道



# 紙に描くのではなく 子どもたち一人ひとりの頭の中に描くマップ

はじめに

地域安全マップづくりは、未来のまちや子どもたちの安全・安心につなげることができ、希望ある未然防止防犯活動です。

立正大学文学部社会学科教授小宮信夫先生が考案した「犯罪機会論にもとづいた正しい地域安全マップ」は、犯罪の被害に遭わないための力を養うことができ、犯罪が発生しにくいまちづくりにも繋げることができる、大変に防犯効果の高いものです。

マップ作りにおいて最も重要なことは、実際に子供たちが外を歩いて、「(誰でも)入りやすく、(何か起こっても)見えにくい場所」や「(何かあったとき)安心して助けを求められる場所」を見極めることです。「●丁目▲番地が危ない」と覚えるのではなく、子ども達がフィールドワークをして作り上げるマップであり、1枚のマップを作り上げていく上で得られる危険な場所を察知する能力は、マップを作ったエリアだけではなく、他の地域やまち、日本以外の国に行っても通用します。

また、大人と一緒にマップづくりを行ない、その地域の住民として「入りやすく・見えにくい場所」を認識すれば、視線や関心がそのような場所に集まることになり、結果的に「入りにくい場所」「見えやすい場所」へと変えていくことができます。

正しい地域安全マップは、読むのでも、見るのでも、持っているものでもなく、作る過程こそが防犯教育であり、防犯効果もあります。

しかし、多くの学校や地域で、「犯罪機会論」にもとづかない、名前だけの地域安全マップが多く作られています。「地域安全マップは各学校に一枚ずつ作成しておけばよい」、「誰かが作ったマップを印刷して子どもに配布すればよい」という誤った捉え方がはびこっており、そのために「防犯効果のある正しい地域安全マップ」がなかなか理解されません。

より多くの子どもたちに安全マップづくりに取り組んでもらうために、保護者や教職員そして地域の方々に「正しい地域安全マップ」を理解していただきたく、私たちは、地域安全マップコンテスト応募作品の正しい認識で作成されたマップのコメントに注目し、これらを冊子にまとめました。

例えば、

「家の裏側の公園。公園の周りの家から公園が見えない」

住宅街にある公園でも、公園の中で何かが起こったときに、それが周囲の家から見えなければ、その公園は「見えにくい公園」なので「一人では遊びに行かない」と、子ども自身が犯罪被害に遭わないための対策を導き出すことができます。

このような公園は、このマップを作った地域のみあるのではなく、全国どこにでもあ

るでしょう。子どもたちが導き出した安全マップ上のコメントをよくお読みいただければ、「家のそばにもこんなところがあった」と、身近な「入りやすく見えにくい場所」を再認識していただけると同時に、旅先などでもそのような場所に気がつくことができると思います。

苫小牧の子どもたちが、自分の暮らすまちを丁寧になぞって気づいた「入りやすく見えにくい場所」のコメントの数々を参考にいただき、この小冊子が、正しい地域安全マップづくりを多くの地域で取り組んでいただく一助となれば幸いです。

平成 20 年 3 月

NPO 法人エクスプローラー北海道





# 目 次



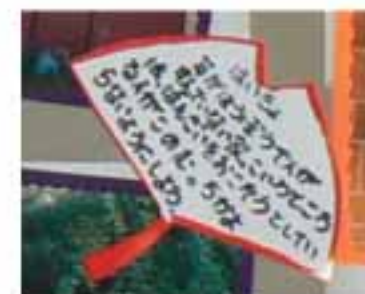
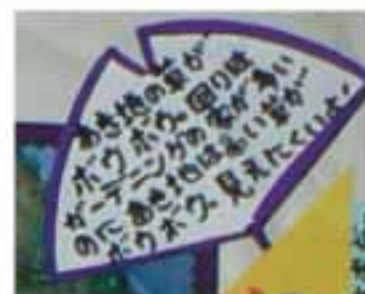
|                        |                        |    |
|------------------------|------------------------|----|
| * 地域スキスキ安全マップ          | 輝く拓小二人組 . . . . .      | 3  |
| * 地域安全マップすごろく          | フィンガー3 . . . . .       | 5  |
| * 4年生スターズの地域安全マップ      | 4年生スターズ . . . . .      | 7  |
| * 地域安全マップ              | 新明ファイブ . . . . .       | 9  |
| * 地域大好き調査隊マップ          | 地域大好き調査隊 . . . . .     | 11 |
| * ちいき安全マップ             | 苫小牧地域調査隊 . . . . .     | 13 |
| * かがやく拓小二人組地域安全マップパート1 | 輝く拓小二人組 . . . . .      | 15 |
| * 拓勇安全隊マップ             | 拓勇安全隊 . . . . .        | 17 |
| * 地いき安全マップ             | 新開明野元町こども安全隊 . . . . . | 19 |
| * ちいき安全マップキケンな場所！！     | 若拓明小中グループ . . . . .    | 20 |
| * 地域安全マップ              | オレンジグループ . . . . .     | 21 |
| * 応募作品                 |                        |    |
|                        | 美園小3年1組安全マップ . . . . . | 22 |
|                        | 美園小4年1組                |    |
|                        | 美園小3年2組安全マップ           |    |
|                        | 美園小3年3組安全マップ           |    |
|                        | 美園小2年2組                |    |
|                        | 美園小2年1組                |    |
|                        | ちいき安全マップ まいごのマップ班      |    |







入りやすくて・見えにくい場所



評価とポイント

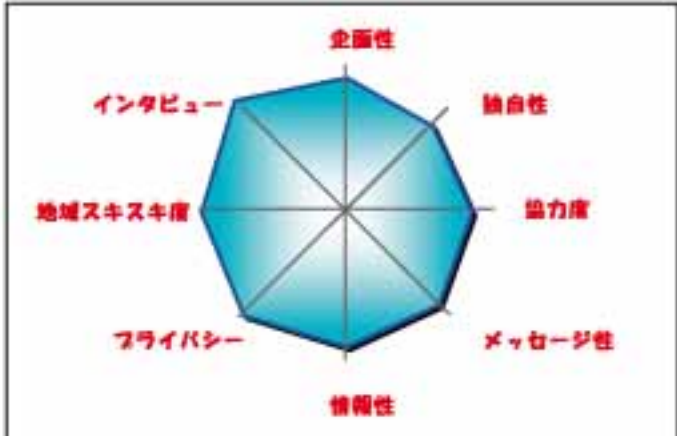
昨年のコンテストに出品した冬バージョンのマップと、同じエリアの夏バージョンのマップを作成してくれました。

たくさん子どもたちが楽しく遊んでいるところや多くの家がある住宅地でも、「犯罪を起こそうとする人」の視点では、入りやすく見えにくい場所がたくさんあることを発見しています。

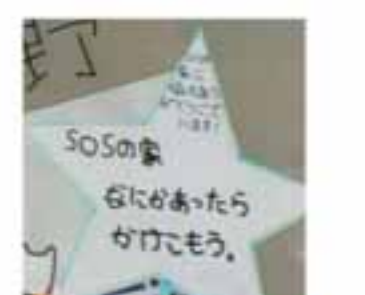
マップに記した「犯罪が起こりやすい場所」では、そのような場所へは、一人で絶対に行かない、どうしても行かなければならない場合は、注意力と警戒心を最大にしてすばやく通り過ぎるという約束を忘れないようにしてください。公園へは、友だちと一緒にいきましょう。

普段、よく通る道や遊ぶ場所でも、このマップのコメントを読めば、なぜ「危険」なのか、どうすればいいのかということがよくわかります。同時に安全な場所が分かりやすく記載されています。

多くの地域の人々にこのマップを見せて、みんなが犯罪被害に遭わない力をつけるように、協力してください。



安全にたすけをもとめられる場所  
周りの人の関心がある場所

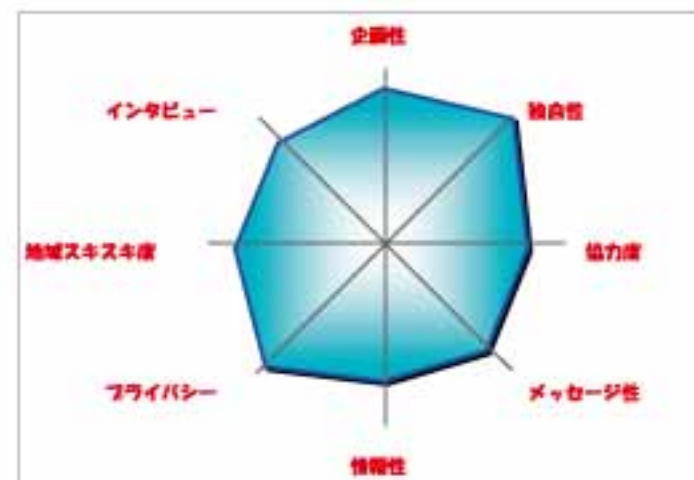






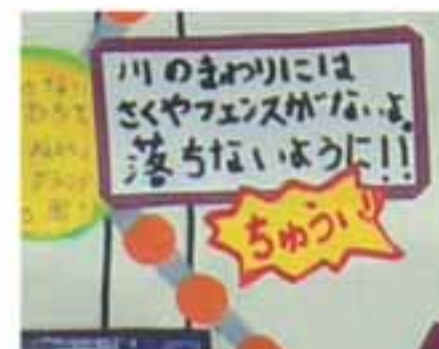
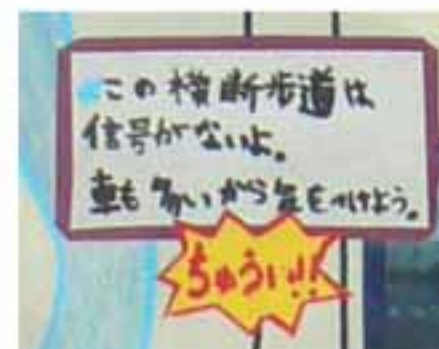
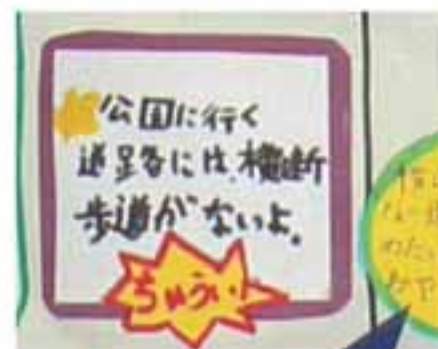
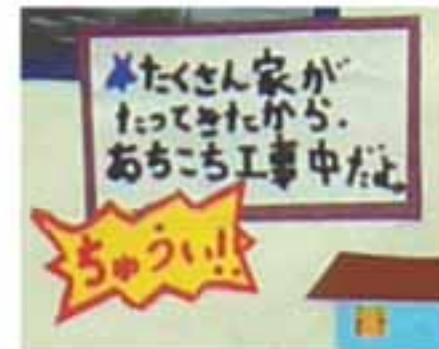
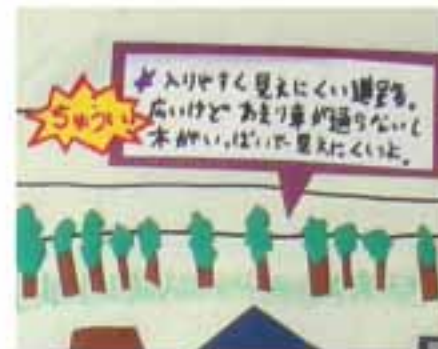
評価とポイント

マップづくりは2回目という親子グループ。楽しくユニークな“すごろく”にすることで、『見る人々の関心を高める→安全への関心が高まる』という効果が望めます。親子で防犯についていろいろ話し合いながら、楽しく作成したのでしょう。イラストやアイデアはピカイチです。  
“通学支援マップ”として、自宅から学校までのいつも歩く道で、気をつけなければならない場所を探し、マップを完成させています。  
このエリアに住んでいる、未就学の子どもたちに見せて、楽しく「防犯」について学んでもらい、より地域の安全性を高めましょう。  
犯罪が起こりやすい場所のものさしである「入りやすく・見えにくい」に、交通安全の観点を多く入れると、“犯罪被害未然防止能力を高めるための地域安全マップづくり”という目的があいまいになってしまうので気をつけましょう。



注目コメント

入りやすく・見えにくい場所



安全にたすけをもとめられる場所  
周りの人の関心がある場所

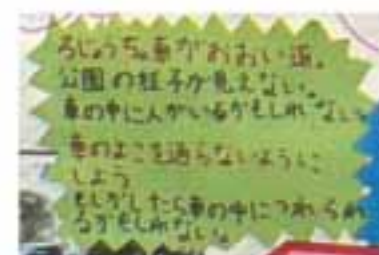
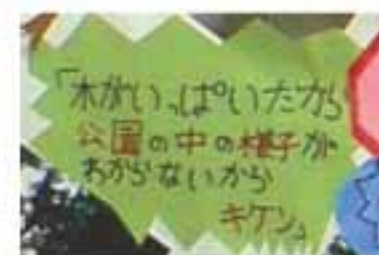
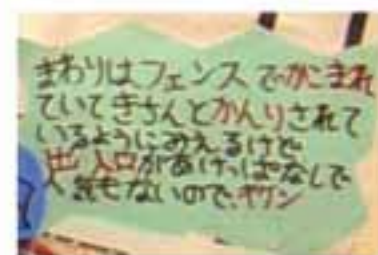
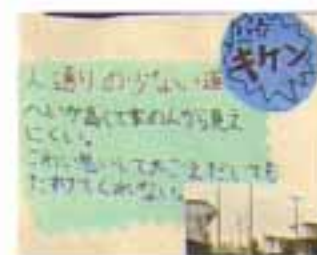






注目コメント

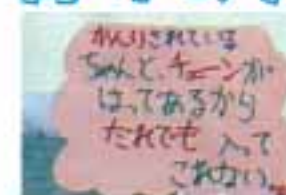
入りやすく、見えにくい場所



ナイスアイデア!



安全にたすけを求められる場所  
周りの人の関心がある場所

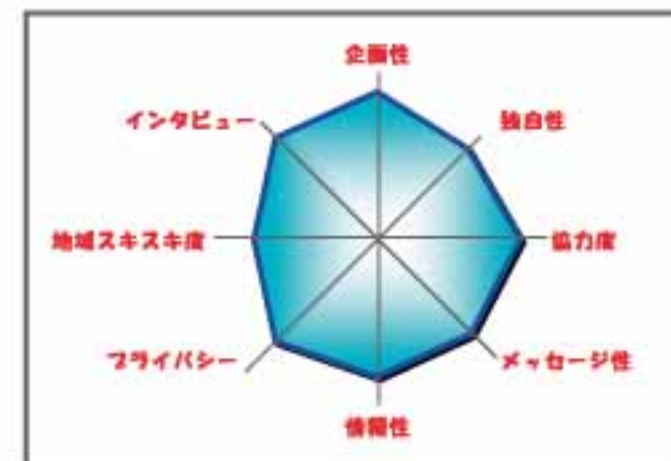


評価とポイント

とても楽しく美しいマップです。ていねいにまち歩きをしたのでしょう。安全にたすけを求められる「SOSの家」を、たくさん見つけることができました。さらに、病院・商店などがSOSの家の場合、営業時間外があるということに気づいたことは、大きな発見です。このマップを見た人たちの安全意識や危険回避能力も高められます。

拡大写真などの使い方が効果的で、「入りやすく見えにくい場所」のを見つけ方を、多くの人に教えることができる、お手本マップです。ぜひ、学校で貼り出してもらいましょう。公園のトイレやアパートの駐車場、コンテナの間など、犯罪が起こりやすそうな危険な場所を具体的に示し、近寄らない・一人で行かないなど、対処方法を的確に導き出しており、犯罪に

あわない力が、すごくついたのでないでしょうか。この力が身につけば、旅行などで知らないまちへ行っても、外国へ行っても、大人になっても、犯罪被害にあわなくてすむのです。忘れないように、何度もマップづくりをして、確実に身につけてください。





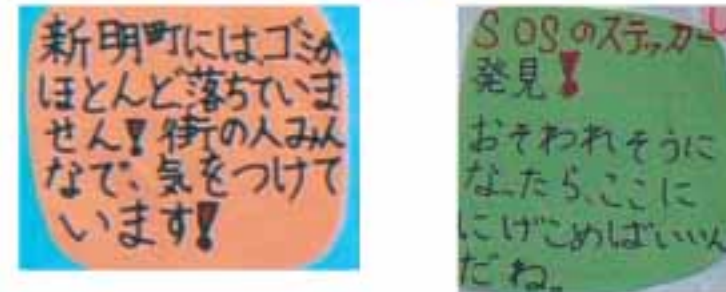


注目コメント

入りやすく、見えにくい場所



安全にたすけを求められる場所  
周りの人の関心がある場所



ナイスアイデア!



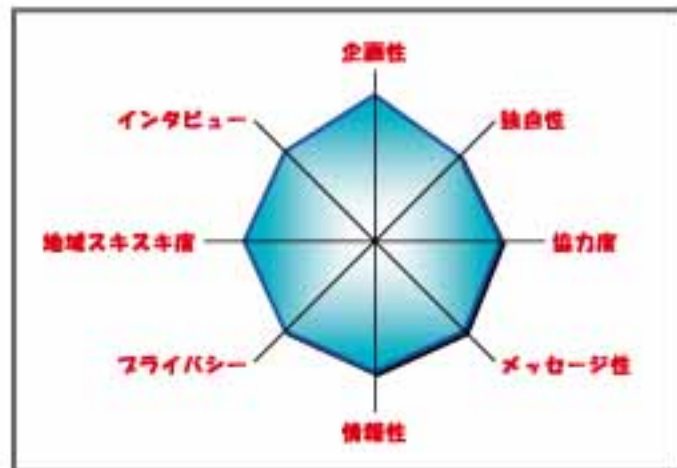
評価とポイント

犯罪が起こりやすそうな場所に注目し、被害未然防止の防犯を目的とする「地域安全マップづくり」の意義を正しく理解して作成されたマップです。

自分たちの発見した「入りやすく・見えにくい」場所を的確な表現でまとめたコメントが大変によいと思います。「SOSの家」がたくさんあり、ガーデニングの家も多いまちでした。地域の関心が高いことが伺えます。自分たちの暮らすまちにゴミがあまり落ちていないことに気がつき「このまちがますます大好きになった」と喜びの感想を話してくれたメンバーたち。地域への愛着も高められましたね。

「前日にはなかったゴミ」に注目することで、夜は人気がないことがわかります。ゴミが落ちている場所は、犯罪が起こりやすい場所の一つです。昼間と夜の違いに気がつくことも非常に大切です。また、地域安全の活動してくれているセーフティの方々への感謝の気持ちをマップに加えたこともとてもよいです。

マップサポーターが同行した「まち歩き」の範囲は広いのですが、発見した情報を整理し、わかりやすく伝えることができるものを選んでマップに載せた工夫は、今後マップづくりを行なうグループのお手本になります。







注目コメント

入りやすく・見えにくい場所



安全にたすけを求められる場所  
周りの人の関心がある場所



評価とポイント

「危険な場所は、犯罪者が好きな場所」ということをマップ教室で学び、**犯人の目線**に立って、犯罪が起こりやすそうな場所を見つけています。学校や学年も異なる初対面メンバーですが、リーダーを中心に、各係りが責任を持って、まち歩きやマップづくりに取り組みました。

みんなで発見した「危険な場所・安全な場所」の写真がとてもわかりやすく、短い文章で効果的にコメントがまとめられています。

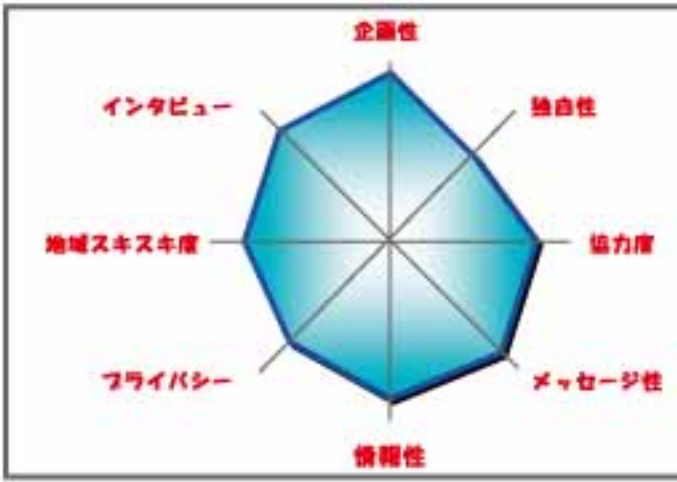
「暗いので電気(街灯)をつけるなどの工夫が必要です」という提案は、子どもたちも「安心なまちづくり」の担い手だということを再認識させるものです。

ご自慢のスケート場白鳥アリーナなどが描かれており、地域スキスキな気持ちが現れています。マップを楽しく美しく作って、多くの人に見てもらいたいという努力が伝わります。

そこに暮らす人たちの、地域を愛する心・大事に

思う心が大きければ大きいほど、犯罪に強いまちになります。

みんなで“犯罪に強いまち・犯罪のチャンスがないまち”を目指しましょう。







### 評価とポイント

マップ教室で、小宮先生と一緒にまち歩きをしたグループです。2時間しっかり集中し、「入りやすく・見えにくい場所」を、自分たちで見つける力を養いました。

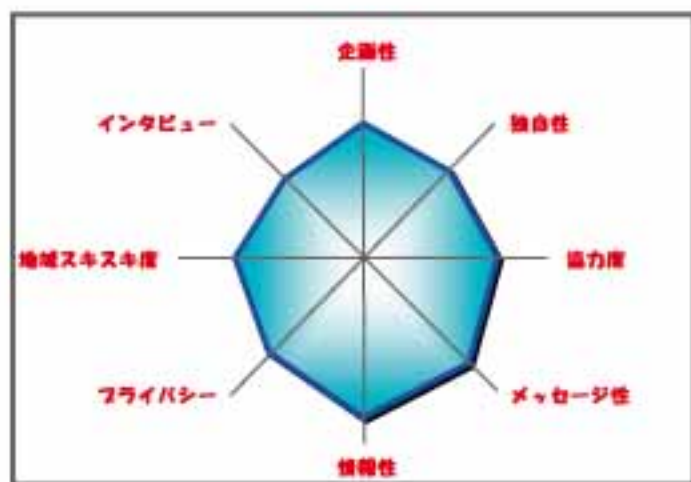
「きれいにガーデニングされている家」のあるところがなぜ「安全」なのか、「ゴミが落ちている」とどうして「危険」なのか、小宮先生に習ったことを明確にマップの中に入れており、とてもわかりやすいです。

このマップに示されているように、「安全」と思う場所のすぐそばに、「危険」な場所があったりすることから、「○▲町●丁目が危ない」などと覚えるのではなく、時と場合に応じて自分で考える力をつけることが「犯罪被害未然防止能力」だということを実感できるでしょう。

プライバシーを考慮するあまり、家の中から外が見えないほどの高さの塀にしまうと、かえっ

てそのエリア全体が、入りやすく見えにくい犯罪者が好む場所になってしまいます。

このマップの地域では、適度な高さのフェンスや柵がしっかりしている家や場所が多いことがわかります。



### 注目コメント

#### 入りやすく・見えにくい場所



トイレのうしろが見えにくい。わるい事をしようとしている人がかくれやすいので気をつけよう!



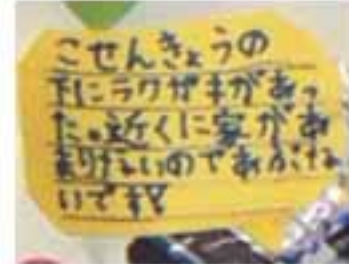
だれでもかんたんに入れる所!一人ではぜったいにとおらない。だれにもみてももらえない。



ゴミ ペットボトルやかんがおちていた。ちいきへのかんしんがひくい



人がとるのが見えないからあぶない



こせんきょうの下にラクガキがあった。近くに家がありませんのであぶないです!



両がわからずまん中からも見えにくいキケン!

#### ナイスアイデア!







(高く評価されましたが、最優秀小宮マップ賞受賞グループが作成したため入賞対象外となりました)

## 評価とポイント

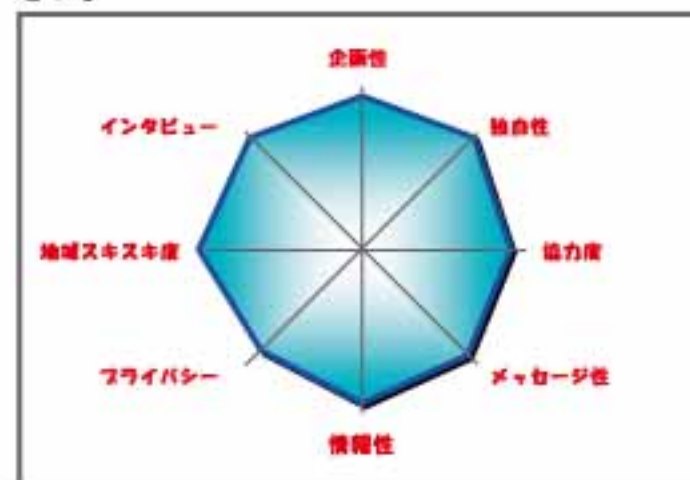
このマップに書き込まれた場所の説明コメントは、対処方法まで考えられていて、初めて“正しい地域安全マップ”を見る人にとってもわかりやすいと思います。

このマップを見れば「大好きなところは、ずっと安全・安心な地域であってほしい」ということが、みんなの共通の願いだと、あらためて気がつきます。この地域に暮らす人々が、このマップを見ると、作成者の地域への愛着の深さに喜んでくれるでしょう。そして、より安全への関心を高めてもらえ、それは、まさに正しい地域安全マップ効果です。

いつもは、危険な場所とっていない場所(堀や遊歩道)が、犯人の目線に立って考えると、**犯罪を起こしやすい場所**ということに気がついています。この“気づき”が、地域安全マップ最大の防犯効果です。**心理的に入りやすく見えにくいとこ**

ろ(壊れたままの遊具や収集日以外に出されているゴミなど)にも注目できており、非常に優れたマップです。

地域の安全は、大人も子ども、そこに暮らす人々、全てが築き・守っていくものです。ぜひ、多くの友だちに“正しいマップづくり”を教えてあげてください。



## 入りやすくで・見えにくい場所



家のうらがわにある道  
歩いている人はあまりいない  
1人でいかにように



お家からはなれた所にあつてうしろは森  
悪いことをしようと思つて人がかくれやすい場所かもしれない

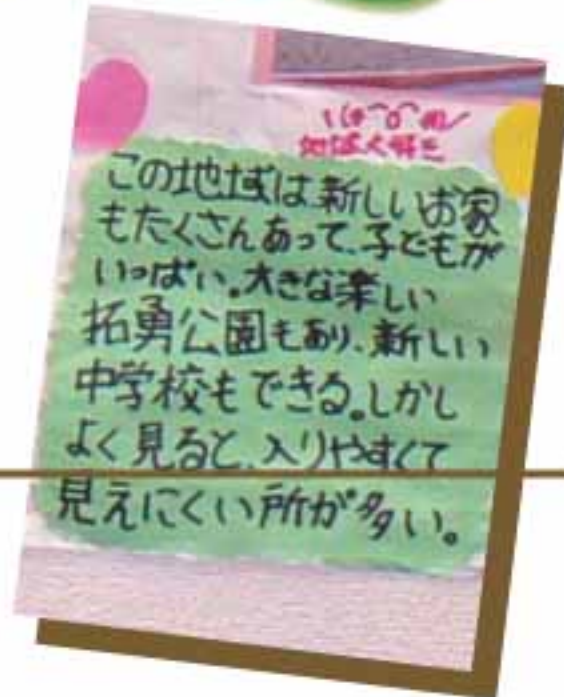
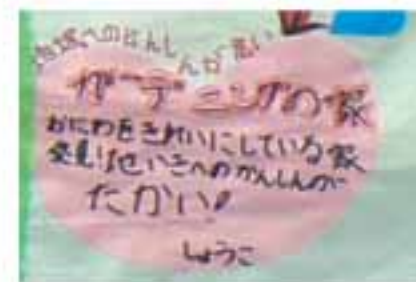


放置自転車  
ず〜っとここにおいたまま!  
地域の関心が低い



## 安全にたすけをもとめられる場所 周りの人の関心がある場所

ナイスアイデア!







評価とポイント

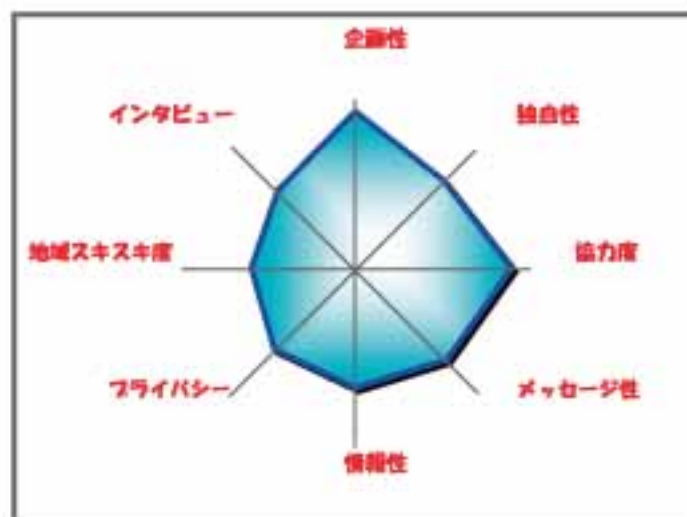
地域安全マップは、マップを見るだけでも、話しを聞くだけでも防犯効果があります。しかし、その効果を最大に高められるのは、実際に自分で「作って→発表して→教える」ことです。みんなの防犯意識が高まれば、より安全な地域になり、誰かに教えればより一層、自分自身が忘れません。

このグループは、小宮先生のマップ教室に参加した2名が、クラスのお友達によびかけて結成。さっそく実践したことが、本当に素晴らしいです。7名のメンバーが協力し、いろいろアイデアを出しながら、楽しく完成させた様子が伝わってきます。

とくに、「安全隊からの8つの約束」や答えをフラップ式にしたクイズは、興味をぐんぐん引きつける、大変よいアイデアだと思います。ただし、「正しい地域安全マップ」には、作成メンバーの情報を入れてはいけません。子どもの名前や顔は誰にでも知られてもいい情報で

はないからです。(事務局で修正させていただきました。)

安全に助けをもとめられる場所をもっと他にもありませんでしたか?その場所を確認して加えると、もっと防犯効果の高いすばらしいマップになるでしょう。ぜひ、もっと多くのお友だちをさそって、またマップづくりにチャレンジしてください。

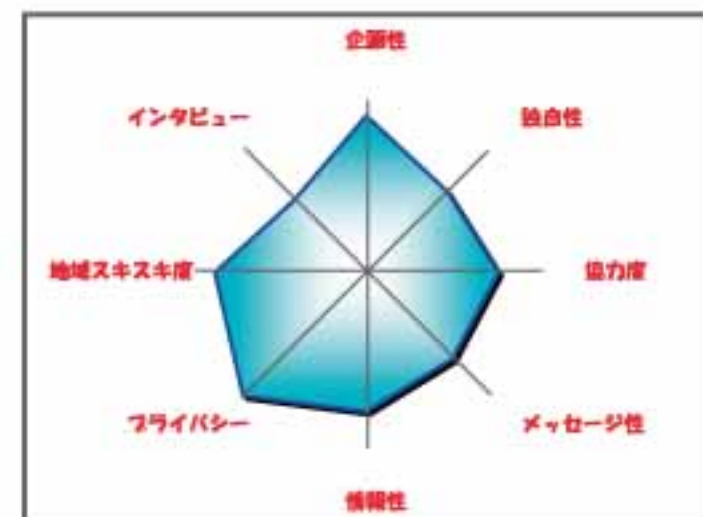


評価とポイント

「入りやすく・見えにくい場所」のものさしになる、らくがきや廃墟などを発見し、それが通学路上にある点に注目してコメントを考えたことは、犯罪に遭いにくい力を身につけた証拠です。

このような目印がある所は、「犯罪を起こそうとする人が誰にも見られないで入りやすく、悪いことをしても誰からも見えにくい」ということを多くのお友だちに教えてあげてください。また、立入禁止のロープが張ってある場所では「こういう場所には絶対に近づかない」と、パトロール隊の方々と確認・約束したとのことです。このように、犯罪が起こりやすそうな場所を認識できれば、事前に何らかの対策を考えることができます。「歩いている人がほとんどいない」ということも、地域安全マップでは、注目すべきポイントです。

発見した場所が、どうして「入りやすく見えにくい」のか、わかりやすい理由をコメントに書き加えると、見てくれた人にもより注意をうながせるマップになるでしょう。







## 評価とポイント

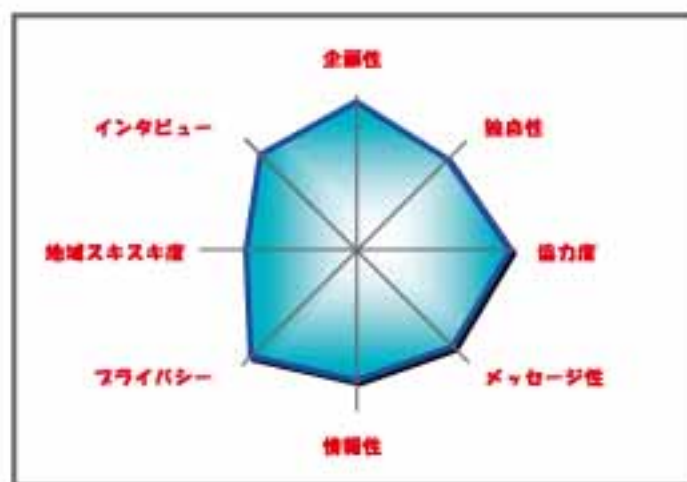
『こみや先生のちいき安全マップ教室』参加者グループの地域安全マップです。

学校も学年も違う、初めて会う人たちと、自分の暮らすまちではないエリアを探索しました。苫小牧警察署のご協力により、警察官2名が指導してくださいました。

「入りやすくて・見えにくい場所」を、“黒い服+マスク+サングラス”の人マークで示してありますが、あくまでもキャラクターにただけで、マップ教室で学んだ「不審者は見た目では判断がつかない」ということは、このグループはしっかり覚えていました。作成発表では、ゴミやらくがきがあるとなぜ見えにくい場所なのか、きちんと説明できていました。

「怖いなあ・気味悪いなあ」と感じた人には、十分注意しなければなりません、犯罪を起こそうとしている人が誰なのかは、大人でも分かりません。マップ作りで学んだ、「犯罪が起こりや

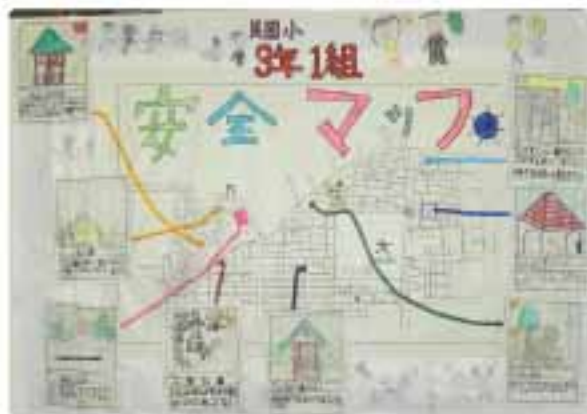
すい場所」に注目しなければならないことを、お友だちにも教え、今度は自分の暮らす地域のマップも作成してみましょう。



安全にたすけをもとめられそうな場所や、SOSの家をととてもたくさん発見できています。消防士さんへのインタビューは、いい思い出ですね。一般人へインタビューした場合、顔や家などを特定する写真や名前を載せることはできませんが、公の場所や人ならばOKです。(でも、顔はなるべくイラストにしよう)危険だと思う場所の説明「暗くて見えにくい、だから犯罪が起こりやすい。ゴミもあって関心もあまりない」は、ほぼ満点のコメントです。このような場所

には、絶対に一人で近寄らないで下さい。「家の大きい窓が、公園に面しているから安全」というところも、よく気がつきました。窓ガラスが割られたままになっている家は、犯罪者が家の中に入ることも考えられますが、実際に注意しなければならないのは、われ窓がしばらくそのままになっていることは、地域の関心が低い証拠になってしまい、犯罪を起こそうとする人にとっては、心理的に入りやすい場所になってしまうことです。ゴミやらくがきも同じ理由です。





北海道地域スキスキマップ  
コンテスト表彰式  
平成19年11月11日  
@イオン苫小牧ショッピングセンター



応募マップ審査会 平成19年11月1日



@苫小牧市民活動センター





「2007ほっかいどう地域安全マップコンテスト一連事業」の開催にあたり  
たくさんのご協賛・ご協力・ご支援をいただきました

特別協賛

 苫小牧民報社  イオン北海道株式会社

協賛

トヨタ自動車北海道株式会社  
出光興産株式会社  
北海道新聞社  
株式会社苫小牧よみうり情報社  
苫小牧商工会議所  
学校法人苫小牧中央学園

支援・協力

苫小牧ライオンズクラブ  
イオン苫小牧チアーズクラブ  
北海道新聞稲垣販売店  
読売防犯協力会  
マップサポーターの皆様

後援

苫小牧市  
日高町  
苫小牧警察署  
苫小牧市教育委員会  
日高町教育委員会  
苫小牧地方防犯協会  
苫小牧市社会福祉協議会  
苫小牧地区保護司会  
苫小牧市防犯協会  
苫小牧市町内会連合会  
苫小牧市民生委員児童委員会  
苫小牧市PTA連合会  
苫小牧駒澤大学  
室蘭民報社  
(財)全国防犯協会連合会

助成  日本財団  
The Nippon Foundation

発行：NPO法人エクスプローラー北海道  
〒059-1303 北海道苫小牧市拓勇東町6-12-30  
TEL 0144-52-5110 FAX 0144-53-5335  
e-mail: <explorerhokkaido@canpan.info>